

# 各界有識者との意見交換会の結果について

## 1 日時・場所

2024年10月24日(木) 午前10時から午前11時30分まで  
愛知県議会議事堂 1階 ラウンジ

## 2 出席者

<意見発表者>

(敬称略・五十音順)

氏 名	職 名
白木 隆光	名古屋商工会議所企画部長
中島 裕子	日本労働組合総連合会愛知県連合会事務局長
増田 義則	中部経済連合会専務理事
吉田 典子	愛知県女性団体連盟会長

<愛知県次期行革大綱策定懇談会委員>

(敬称略)

	氏 名	職 名
座長	野田 遊	同志社大学政策学部教授
座長代理	加藤 義人	岐阜大学工学部客員教授、名古屋都市センター特任アドバイザー

### 3 意見交換の内容

次期行革大綱中間取りまとめについて

### 4 意見の概要

中間取りまとめ 該当箇所	主な意見
全体	主要取組事項(9本の柱)のうち「1 DX・業務効率化・行政サービスの向上」「2 組織のパフォーマンスの向上」「3 職員が力を発揮できる環境づくりの推進」は、目的を一つにした上で、連動を意識して取り組むと良い。
Ⅲ 1 DX・業務効率化・ 行政サービスの向 上	新しいアイデアの創出には時間的余裕が必要であり、トップダウンによるスクラップや、ITツールを活用した業務効率化を推進していただきたい。 DXの観点から、より有用なデータをオープンにして広く利活用することができるような仕組みの構築を検討していただきたい。
Ⅲ 2 組織のパフォーマ ンスの向上	民間では、工場などにおいても、近年はカラフルでデザイン性の高い家具を導入しており、県も椅子、机等を変更し、居心地の良い、明るい職場づくりに努めていただきたい。 先が見えない変化の大きい時代であるため、場面に応じて柔軟に施策を変えていくことが必要であり、そのために、ある程度自由度をもって、現場サイドが判断しながら適切に対応できるようにしていくことが重要である。

中間取りまとめ 該当箇所	主な意見
Ⅲ 3 職員が力を発揮 できる環境づくり の推進	<p>管理職のマネジメント強化の観点から、職場が心理的に安全な場所になるよう、上司と部下の信頼関係の構築等につながる1on1ミーティングを引き続き活用していただきたい。</p>
	<p>女性の登用と企業、NPO等との連携の観点から、各界で活躍している女性と県の女性幹部職員との交流の機会を創出していただきたい。</p>
	<p>人口減少社会における女性の活躍促進は重要な問題であり、優秀な人材を確保するためには、ワーク・ライフ・バランスだけではなく、仕事と生活どちらも充実させる取組が必要である。</p>
	<p>適材適所の人員配置ため、人材の力量を見抜くことができる管理職の育成や、女性の管理職への登用にあたり、管理職としての資質が備わるよう、新規採用のころから長期ビジョンを掲げて育成していくことが必要である。</p>
	<p>事業の推進や判断ができるようにするためには、コミュニケーション力だけでなく、コーディネート力の向上が必要である。</p>
Ⅲ 5 人口減少社会を 見据えた自治体 間連携と地方分 権の推進	<p>東京一極集中是正の問題などに対し、各県バラバラではなく、広域で連携して対応していただくとともに、愛知県がこの地域のリーダーとして活躍することを期待している。</p>
	<p>市町村との連携に当たっては、県又は市町村でやるべきかの線引きをしっかりとし、いただくことで、予算や人的な資源の最適な配分が可能となる。</p>

中間取りまとめ 該当箇所	主な意見
Ⅲ 6 企業・大学・NPO 等との連携・協働 の推進	<p>産業構造が変化している中で、事業者自身も対応に苦慮しているのが現状であり、先を見据えた産業育成の取組にも期待したい。STATION Aiの活用も一つのアプローチであり、そうした機能を発揮できる体制づくりの意味でも、行財政改革を進めていただきたい。</p>
	<p>NPO、企業、大学等と連携した幅広い視点での課題解決が重要であり、愛知県のプラットフォームであるA-IDEA(アイデア)などをしっかりと活用して、連携を強化していただきたい。</p>
	<p>NPOなどとの協働においては、スキルなどに応じた対価が支払われることで、スキルを持っている方が力を発揮しながら協働できるようになる。</p>
Ⅲ 7 民間活力の更なる活用	<p>企業等との連携に当たっては、ビジネスの現場の感覚を持って、県と企業が相互に理解しあえる関係性をつくっていくことが大事である。民間企業との人事交流を一層増やすことにより、ビジネスの現場でのコミュニケーションを経験できる機会が増えると良い。</p>